

第2回 九頭竜川自然再生計画検討会（現地視察会）

概要報告

日時：平成19年7月11日（水） 13:30～17:00

場所：九頭竜川国管理区間

1. 現地視察会の概要

第2回九頭竜川自然再生計画検討会として、事業実施区間の状況等の把握を目的に現地視察を行いました。

各視察地点においては、事務局から視察ポイントの説明及び各構成員からの情報提供が行われ、活発な意見交換、質疑応答が行われました。

2. 現地視察ルート

福井駅（集合・出発） 五松橋 福松大橋 森田地区 芳野川樋門 道の駅「みくに」（休憩） 三国大橋下流左岸 三国大橋周辺左岸 小尉地区 布施田橋上流左岸 福井駅（解散）

3. 視察内容

五松橋



事務局より、九頭竜川河川整備計画における整備目標、整備内容等について説明がありました。

福松大橋



事務局より、砂礫河原の経年変化、植生の繁茂状況、澁筋の固定化、流量の平滑化、洪水による攪乱の減少等の説明がありました。

構成員からの主な意見

- ・景観のために樹木伐採は考えられないか
- ・福井大橋下流において、98年出水後形成された砂礫河原でコアジサシの繁殖が確認されている

森田地区



事務局より、植生の遷移状況、砂礫河原の再生イメージ等について説明がありました。

構成員からの主な意見

- ・コアジサシの繁殖にとっては、梅雨の時期に水に浸からない河原が必要である
- ・切り下げ方については、数ケースの施工高さを設定し、モニタリングしながら試験的に施工していく方がよいのではないか

芳野川樋門



事務局より、芳野川樋門の概要、支川で確認された魚類、本川と支川・水路の連続性確保イメージ等について説明がありました。

構成員からの主な意見

- ・支川流域の地元住民の要望、合意形成がすでにあり、多自然型工法を取り入れているこの地域は、支川の中でも優先順位が高くなるのではないか

三国大橋下流左岸



事務局より、三国大橋周辺の植生繁茂状況の説明があり、三国大橋下流左岸ではヨシ・マコモ群落が維持されている旨の説明がありました。

構成員より、坂井平野ではトナガイルやツガイルは絶滅に瀕しているため、田んぼの湿地再生が必要であり、そのためには、年中水がある環境を維持すること、河川との連続性を確保することなどが必要であるとの意見がありました。

三国大橋周辺左岸



事務局より、三国大橋周辺のヨシ・マコモ群落の分布状況等について説明がありました。

構成員からの主な意見

- ・ヨシ群落は変化していないのに、マコモ群落が減少している要因をみていく必要がある

小尉地区



事務局より、浅瀬と河岸直立化の状況、水際環境再生イメージ等の説明がありました。

小尉地区対岸より、河岸直立化の状況を確認しました。

布施田橋周辺



事務局より、布施田橋周辺は、ヨシ・マコモ群落の良好な生育環境が形成されている旨の説明がありました。

(車窓より確認)

3. 今後の予定について

事務局より、次回の第3回自然再生計画検討会は、10月を目途に開催する旨のお知らせがありました。